

拝啓 暑い夏が続いています。皆様お変わりございませんか。いつもエンカウンターをお読みいただきありがとうございます。近所の公園では、さるすべりが、暑い日差しの下で元気よく咲いています。

今月は、小西先生の『ローマ人への手紙講解説教』の第4回目です。小西先生の講解説教のさわりの箇所をエンカウンター用書き写しながら、信仰の理解は、やはりそういう考えで良いのか、と思うことがしばしばあります。エンカウンターは、私自身にとって最もよいキリスト教の勉強になっています。

8月2日から5日まで、本誌読者の佐藤昭夫さんと、3泊4日で中央アルプス登山に行ってきました。4日間、快晴で、展望が素晴らしく実に心に残る登山ができました。内村鑑三先生の言葉に「読むべきものは聖書、学ぶべきものは天然、為すべきものは労働」という言葉がありますが、山に行くと、自然に親しみますと、本当に幸福を感じます。私は、登山の趣味を50年以上も続けて、良い趣味を持って良かったと思います。登山は今では大衆スポーツですが、高等学校の頃、岡山エーデルヴァイス山岳会に入って、鳥取県の大山によく行っていた頃は、登山はぜいたくなスポーツと言われ、よく父母が貧乏な中から、登山のお金を出してくれたことを、感謝しています。

私の南原先生の伝記『南原繁の生涯』は、9月19日に教文館から発行されることになり、今最終的な校正を終えた所です。教文館の渡部満社長が、自ら編集を担当して下さい、大変光栄に思っています。引用文について原文と照合して下さい、多くの転記ミスを見つけて下さり、大変ありがたく思っています。おかげで、本の格が大分上がったように思います。本は、執筆者と編集者の共同作品という言葉があると思いますが、その通りだと思います。

8月25日(土) 南原研究会の第100回記念の研究発表会が、学士会館で開かれました。7の方が30分ずつ報告をされ、私は前半の司会を致しました。南原研究会はよく続いたし、よい成果が上がったことを感謝します。これまでの9年間、無理をしてやったようなことは何一つなく、自然に今日のような形が出来上がりました。

8月26日(日) 早稲田教会で、信徒証言を依頼され、「若い人達に 私の信仰体験より」と題して証言しました。小西先生から学んだ信仰と、ピリー・グラハム先生から学んだ信仰の体験を中心に話しました。

暑さ厳しき折から、お身体ご自愛のほど、祈り申し上げます。

敬具

平成24年8月27日

山口周三

エンカウンターのご読者各位